

守山市発達支援センターだより

令和3年6月号
令和3年6月30日発行

守山市発達支援センター（発達支援課）
守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内
Tel: 077-582-1158 Fax: 077-581-1628

守山市発達支援センターでは、心身の発達に遅れや偏りのある、またはその疑いのある方の発達や社会参加を支援するために、発達相談、言語指導、訪問相談、巡回訪問、就労支援、療育支援などの事業を行っています。また、校園の先生方を対象とした研修会をはじめ、以下のような事業も行っていますので、ご活用ください。

“つぎのいっぽ”勉強会

今年度より、個別支援計画の勉強会“つぎのいっぽ”をスタートしました。

校園の先生方が作成された個別支援計画をもとに、「どう書けばいいのかな？」

「どんな手立てがいいかな？」「この子って、いったいどんな子？」など…先生方と支援計画を挟んで、お話ししながら、次の一歩にステップアップをできればと思っています。

実際の個別支援計画を持参していただき、少人数制（発達支援課職員を含め4人まで）で第2、第4金曜日の15時～、16時～（それぞれ一時間程度）で開催しています。詳しくは発達支援課までご連絡ください。



巡回図書を紹介① ～今年度は4セットを巡回しています

発達支援センターでは、発達支援、発達障害についての理解、啓発を図るため市内の校園に発達障害についての図書を巡回しています。図書が校園に巡回した折に、ぜひお手にとってみてください。

Aセットは、以下の6冊です。（次号はBセットを紹介します）

- (1) おこだでませんように (2) いぬはみんな ADHD (3) ねこはみんなアスペルガー症候群
(4) ぼくはスーパーヒーロー (5) 発達凸凹なボクの世界 (6) すずちゃんののうみそ

*そのうちの1冊を紹介します。

「発達凸凹なボクの世界」 — 感覚過敏を探検する — プルスアルハ著

感覚過敏についてとても詳しく描かれた絵本です。感覚過敏は、まわりの人たちにはとても分かりにくく、本人にはつらい特性になることが多いです。だからまずはこの絵本を読んで、「感覚過敏ってこんな感じ!!」と知ってほしいと思います。

また、この絵本では実体験をもとにした「工夫いろいろ」が紹介されています。個人差はありますが、感覚過敏で困っている子どもさんや保護者の方に、手立ての一つとして紹介をしていただくこともおすすめです。

おしらせ

～「進路交流会」を開催します～

支援を要する生徒の進路体験談や保護者の思いを聞く交流会を開催します。

日 時：8月5日（木）午前10時から

場 所：すこやかセンター3階 講習室

対 象：①支援を要する子の進路について関心のある小・中学生の保護者

②支援を要する子の進路について関心のある中学生

③市内幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の教職員 等

*申込方法などの詳細は、

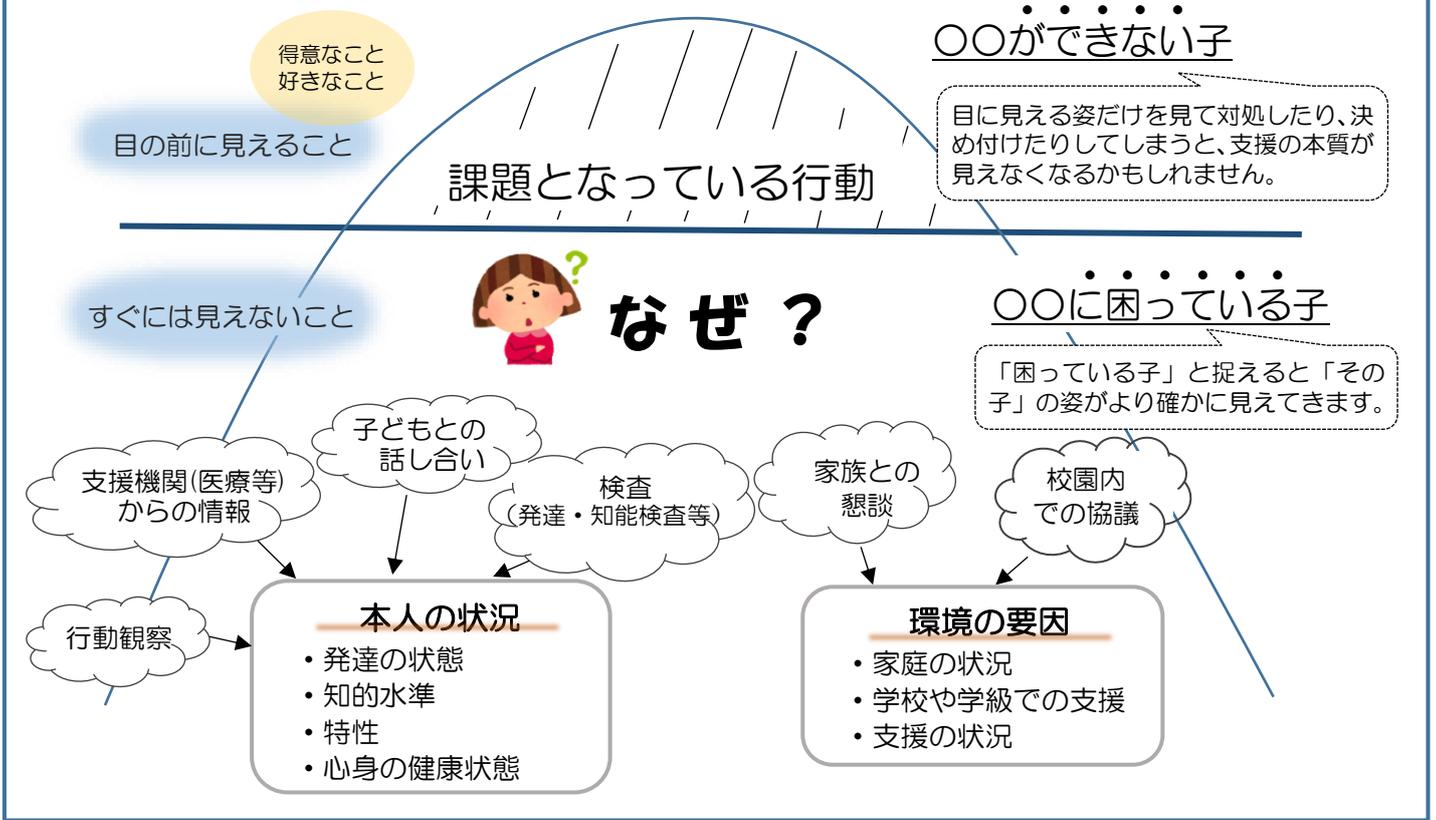
別送の「令和3年度発達支援センター進路交流会の開催について」をご覧ください。



～冰山モデルをもとに支援を考える～

下図は、冰山です。

子どもの気になる行動を「氷山の一角」に見たて、目の前の行動がどんな要素のつながりで起こっているのかを考えます。その行動の「わけ」を考えることで、子どもを理解し、支援につなげていきます。そのための考え方のモデルが、「冰山モデル」です。



チームで支援について考えます

